

知を育む力



福岡大学
永田 潔文 学長

九州大大学院工学研究科応用物理学専攻修士課程修了。1979年福岡大理学部に。2023年同大学長就任。1954年12月2日生まれ。福岡市出身

進展する情報化社会に対応でき 「人間力」ある人材を輩出

七隈に9学部10研究科 多様な交流が生まれる

— 現在、どのような人材の育成・輩出を目指していますか。

本学は主に地域で活躍する人材を育成する教育機関として誕生し、今年で創立90周年を迎えます。多くの卒業生が地域企業を支え、各業界で中核を担っています。その中で、独立心を持った人たちは自ら会社を起し、経営者となつて

います。

本学卒業生の特徴は人間力の豊かさです。コミュニケーション能力や忍耐力の評価は高く、それが組織において中核的役割を担う基盤となっております。人間力は今後この社会でも求められるでしょうし、本学卒業生の強みとして伸ばしていければと思っています。

— 現在、社会の環境変化が激しくなっています。最近では生成AIが話題になり、働き方も変化する中、これに適応した人材育成が必

要です。本学でも2022年度に

全学部 of 学生を対象とした「データサイエンス・AI入門」を開講し、23年度には約1500人が受講しました。昨年には「福岡大学教育データサイエンス教育プログラム（リテラシーレベル）」が文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」に認定されました。

AIは、ビッグデータから関連性を見つけて出し、ある種の経験則に基づき結果を導くもので、物事の本質を見抜いたり、相手の気持ちを察するようなことは現在、難しい状況です。そうした面は人間のみが強みを持つ特性であり、人間はそれらに関して、生活を通じて身につけていきます。本学は9学部10研究科がワンキャンパスに集う全国的にも稀有な環境を持っており、正課の授業に加え、課外活動も盛んです。年齢や学部が異なる人間同士が活発に交流できる環境が、人間力を醸成させています。

学ぶ環境をさらに充実 大学病院新本館が開院

— ハード、ソフト両面において新たに組み込まれてきたことはあ

りますか。

学生が学びやすい環境の整備を進めています。キャンパス内のWifi環境を整え、学内でどこでも学べるようにしてきました。授業を録画し、後日見ることができ、オンデマンド化も進んでいます。

また、学生が「居場所」として大学を活用できるように、学生ラウンジの充実やイルミネーションイベントの実施なども行っています。本学は、学位プログラムごとに定めたディプロマポリシーに基づき学習の到達度の可視化に取り組んでいます。学生がどのような科目を学び、どのような能力を身につけたのかを個人ファイルに落とし込むシステムへ発展させることも



構想しています。それにより、学生は自分の強みがわかり、就職活動時の自己分析やアイデンティティを確立に役立てることができるようでしょう。

ハード面では5月に福岡大学病院の**新本館II写真II**が開院します。国から災害拠点病院の指定を受けており、診療機能維持の観点から免震機能を持たせ、また、これまで地上に設置していたヘリポートを新たに屋上に設置し、より広域での患者対応が可能となっています。人口動態の変化を見据え、三大疾病への対応や感染症対応、救急医療の充実を図り、特定機能病院として、高度な医療を地域に提供していきます。

さらには大学直営の寮「福岡大学自修寮」の女子棟が4月から稼働します。全個室にWifiを完備し、防犯カメラなどのセキュリティシステムも強化しています。寮ならではの交流の空間も残しつつ、現代のニーズに合った施設に生まれ変わっています。

好評の「FUSポまち」 地域の健康づくり支援

— 地域や企業とはどのように

連携していますか。

企業や自治体とはカーボンニュートラルの取り組みで連携しています。代表的なものとしては「福岡方式」と呼ばれるゴミ処理技術があります。処理時のメタンガス発生を抑え、浸出水を浄化するこの方式は国内外で広く活用されています。本学は海外への技術移転指導も行っています。

地元スポーツチームや企業、自治体等と連携する「福岡大学スポーツ健康まちづくりコンソーシアム（FUSポまち）」も好評です。本学にはスポーツ科学部があり、専門知識と経験を持つ学生と教員がいます。また、公式試合も実施できるような充実したスポーツ施設もあります。それらの資産を生かして子どもや障がい者、シニアのスポーツ実施などを支援しています。

また、全国的な課題である部活動指導の地域移行を支援することを目的に、部活指導員・支援員を学生が担う取り組みをトライアル事業として実施し、特に注目されています。本学の豊富な資源を生かし、スポーツを通じて社会貢献をさらに推進していきます。

就職内定率は高水準 充実した学生生活支援

— 最後に今年度の就職についてお聞かせ願えますか。

24年3月卒業予定者の就職内定率は1月末時点で92・7%（薬学部と医学部医学科除く）と昨年度に比べ高水準となっています。1月30日と31日に開催した合同企業研究会には328社が参加し、延べ3000人を超える学生が企業の採用担当者の説明に耳を傾けました。また、福岡をはじめ東

京や大阪などで活躍する卒業生が業界や仕事について経験・体験談を語る機会を設けるなど、広大な福大人脈が就職面でも活かされています。さらに、大手企業や自治体と連携し、低学年時から参加可能な課題解決型プログラムを実施するなど、学生が在学中に職業観を醸成し、自立・納得して職業選択することができるよう支援しています。これからも地域・日本・国際社会の各界・各方面で活躍できる立派な人材となつてほしいと思います。

Outlines



人をつくり、時代を拓く。

福岡大学

1934年に福岡高等商業学校として創立。統合、改称などを経て56年に福岡大学に。「思想堅実 (Steady)」「穏健中正 (Sensible)」「質実剛健 (Sincere and Strong)」「積極進取 (Spirited)」を建学の精神とした西日本屈指の規模を誇る総合大学。福岡市城南区にある七隈キャンパスに人文学部、法学部、経済学部、商学部、理学部、工学部、医学部、薬学部、スポーツ科学部の9学部31学科と大学院10研究科34専攻が集まる。

多様な学部学科を背景に福岡県だけでなく、日本全国に多彩な人材を輩出。24年5月には福岡大学病院新本館を開院予定。同年に創立90周年、34年に創立100周年を迎える。最寄駅は福岡市地下鉄七隈線「七隈駅」「福大前駅」。